

第2学年生活科授業案

単元名「いきいき キラキラ 生きている」 内容(7) 動植物の飼育と栽培
～わくわく生き物ランドを作ろう～

加納岩小学校 中村悦美

1 単元の目標

身近な生き物を探したり、飼育・観察したりする活動を通して、自然環境や生き物への親しみをもつとともに、生命の不思議さを感じ、それらを大切にしようとする心情をもつことができるようにする。また、自分たちが育てた生き物のことを他者に伝えたりすることができるようにする。

2 単元について

2年1組の児童は19名である。「虫は好きですか」という問いに対し、好きと答えた児童は7名で、普通が5名、嫌いと答えた児童は6名いた。嫌いと答えた児童はすべて女子で、「気持ち悪い」という理由だった。「虫をつかまえたことがありますか」という問いに対しては、捕まえたことがある児童は11名、捕まえたことがない児童は8名とほぼ半数であった。ただ、捕まえた子のほとんどはカブト虫で、ぶどう園にいたとか家に飛んできたとかいう理由であった。罌をしかけたり山へ捕りに行ったりした児童は2名しかいなかった。総じて、虫に対して興味・関心が薄いように思われたが、保護者からいただいたカブト虫の幼虫を教室で育てたところ、幼虫から蛹、蛹から成虫とカブト虫が成長するのを、ほとんどの児童が興味津々で見えており、「虫が嫌い」と答えた女子たちも、目を輝かせて脱皮の様子を見守る姿が見られた。その様子から「虫が嫌い」というより「よく知らないからなんとなく嫌い」という感じなのだろうと推測された。

山梨市のようにまだ自然がたくさん残っている場所でも、子どもたちが集まって虫を捕まえて過ごすという風景は見られなくなった。自然は子どもたちにとって生活の場所であるはずだが、現在の子どもの興味はゲームであったりアニメであったりする。低学年の今のうちにこそ、自然との関わりを多くし、自分を取り巻く自然の中に多様な命が息づいていることに気付かせたい。また、生き物を見つけた場所をマップにすることで、どのような場所に生き物がいるかを知らせ、自分の地域の自然に目を向けさせるとともに、生き物とのふれあいを通し、そのおもしろさ不思議さ、小さな命の大切さに気付き、生き物を大切にすることを育てたい。

1年生とは、学校探検のときにグループごとに一緒に探検するなどの交流があった。今回の学習では「わくわく生き物ランド」を作り、1年生を招待して生き物を紹介することを通し、子どもたちの気付きをより確かな学びへと変えていきたい。

3 単元の評価規準

| | |
|------------------|---|
| 生活への関心・意欲・態度 | <p>○生き物に関心をもち、世話をしたり観察をしたりして、大切にしようとしている。</p> <p>○生き物のことを、クラスの仲間や1年生に伝えようとしている。</p> |
| 活動や体験についての思考・表現 | <p>○生き物を捕まえた場所を思い出したり、育てるために必要なことを本などで調べている。</p> <p>○生き物の育つ場所や飼育のしかを調べ、カードに書くなどして表している。</p> <p>○生き物への気付きを様々な方法で表し、それを他の人に伝えている。</p> |
| 身近な環境や自分についての気付き | <p>○身近な場所に生き物がいることや、体の特徴などに気付いている。</p> <p>○生き物の世話をする中で、生き物と自分との関わりについて気付いている。</p> |

4 指導と評価の計画（14時間）

| 小単元名 | 主な学習活動 | 評価規準 | 評価方法 |
|------------------------------------|--|--|-------------------------------|
| 1 生きもの みんな でておいで (2時間) | <p>・親子で身近な生き物探しをする。(説明0.5時間)</p> <p>・探した生き物を学校へ持ち寄り、どんなどころにどのような生き物がいたかカードに書いて紹介する。</p> <p>・友達の紹介をきくことで、様々な場所に様々な生き物が住んでいることに気付く。(1時間)</p> <p>・生き物マップを作る。(0.5時間)</p> | <p>意 親子の生き物探しに積極的にとりくみ。生き物を探そうとしている。</p> <p>思 生き物を捕まえた場所を思い出し、カードにまとめ紹介している。</p> <p>気 身近な場所に生き物がいることに気付いている。</p> | <p>発言</p> <p>生き物 ニュース</p> |

| | | | | |
|---|---|---|---|--|
| <p>2 生きものの ふしぎ 大はっけん</p> | <p>生き物の動きや生態を、毎日世話をしながら観察する。その中で、発見したことや不思議に思ったことを言葉や絵で表現し、友達に伝えることができるようにする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・担当グループを決め、生き物の世話をする。 ・生き物の観察をして気付いたことを付箋に書いて貼る。担当グループ以外の人でも自由に観察して付箋に書く。 (3時間+休み時間) | <p>意 生き物に親しみをもって世話をしようとしている。</p> <p>思 生き物のすみか・体・動きの特徴に気付き、付箋に表している。</p> | <p>行動観察 発言 付箋</p> |
| <p>3 お気に入りの すみかづくり</p> <p>※2～3を通しての継続学習 (4時間)</p> | <p>生き物の好きな食べ物や、住むのに適した環境を調べて、自分たちで生き物にとって快適なすみかをつくることができるようにする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物や環境など、生き物が生き息していく上で必要なことを調べてまとめる。 ・調べたことを基に、グループ毎にすみかを作る。必要な物は持ち寄る。(1時間) | <p>意 生き物について調べようとしている。</p> <p>思 生き物を大切に育てるには、その生き物に適したすみかや食べ物が必要であることに気付き、生き物が喜ぶすみかを作ろうとしている。</p> | <p>すみかカード 行動観察 発言</p> |
| <p>4 生きもの わいわい 大しゅうごう (7時間)</p> | <p>これまで育ててきた生き物の様子を振り返り、グループ毎にまとめる。「わくわく生き物ランド」を作り、1年生に生き物を紹介する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・わくわく生き物ランドの計画を立てる。(1時間) ・これまでに書いた付箋やすみかカードを使い、生き物を紹介できるようにまとめる。(2時間) ・お互いの発表を聞き合うと共に、1年生に伝わるように発表の練習をする。(3時間) ・わくわく生き物ランドに1年生を招待して、生き物について分 | <p>意 自分が世話した生き物について紹介する準備をしようとしている。</p> <p>思 生き物について知ったこと気付いたことをまとめて、1年生に伝えている。</p> <p>気 生き物の世話をしたり、紹介したりするを通し、自分も成長したことに気付く。</p> | <p>行動観察 生き物紹介の紙 発言 感想カード</p> |

| | | | |
|-----------------------------------|--|---|--|
| | かったことを伝える。 (本時 1時間 60分授業) | | |
| 5 ありがとう 生きものたち (1時間) | 世話をしてきた生き物たちのこれからを考え、今後も生き物や命を大切にしようとする気持ちをもつことができるようにする。 ・世話をしてきた生き物たちをこれからどうするか話し合う。 ・自分自身できるようになったことを話し合う。 (1時間) | 意 生き物のこれからを考え話し合おうとしている。 思 生き物は自然との関わりの中で生きていることが分かり、生き物に親しむ心もちそれを表している。 気 生き物の世話を通し、命を大切にしようとしている自分の成長に気付いている。 | |

5 本時の学習指導案

- (1) 日時 平成27年8月28日(金) 14:00～15:00
- (2) 場所 山梨市立山梨小学校 2年1組教室
- (3) 本時の目標 生き物について分かったことを、1年生に伝える。
- (4) 本時の展開

| 流れ | 主な学習活動 | 指導上の留意点□ 評価■ |
|-----------------------|--|--|
| つ か む 5 分 | ○めあてを知る <div style="border: 2px dashed black; padding: 10px; text-align: center;"> ～ わくわく いきものランドへ ようこそ ～ 1年生に生きもののことをしょうかいしよう </div> ・1年生に話すときのポイントを思い出す | □話すときのポイント 声の大きさ、スピード、ゼスチャーなど1年生にわかりやすく話すときのポイントを確認させる。 |
| 活 動 | 1年生入場 始めの言葉 | |

する
①
15分



- 担当の生き物について、グループ毎に説明する。
- ・生き物の特徴、すみか、気付いたことなどを話す。

- 生き物について分かったことを、1年生に伝える。



活動する
②
35分


- 生き物とのふれあいタイム。
1年生を生き物に触らせてあげたり、気付いたことや調べたことを伝えたりする。

- 1年生に合わせて生き物のことを伝えようとしているか。(思)
- ・話すときのポイント
- ・1年生の目線
- ・1年生の気持ち



1年生の感想発表
先生のお話
終わりの言葉

- 生き物に触った後は、必ず手を洗うように言う。

| | | |
|----------------------------|--|--|
| ま と め る 5 分 | <input type="radio"/> 今日のめあてについて振り返る。 <input type="checkbox"/> グループの中で良かったところを誉め合う。 <input type="checkbox"/> 振り返りカードに記入する。 | <input type="checkbox"/> 自分たちが頑張った点に気付かせる。  |
|----------------------------|--|--|

6 評価の実際

| A 十分満足できる | B おおむね満足できる | Bに達しない児童に対する支援 |
|-------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|
| 生き物の具体的な変化や特徴を、わかりやすく1年生に伝えることができた。 | 生き物についてわかったことを、1年生に伝えることができた。 | グループでまとめた紙を見て振り返らせてから1年生に伝えるようにさせる。 |

7 研究討議から

(1) 授業者反省

- ・子どもたちは「生き物ランドで1年生に発表する」という目標に向けよく練習していた。発表場面はしっかりできていた。
- ・事前のとりくみの中で、観察して気付いたことを付箋に書いて貼らせたが、もう少し気付きが深まるような助言をするべきだった。
- ・「生き物が苦手」「こわい」といった子どもたちが、生き物の世話をするうち生き物に触れられるようになったり、愛着をもったりしていく様子が見られた。
- ・「1年生に教える」ということは、子どもたちにとってとても嬉しいことなのだと感じた。一生懸命自分が発見したことを伝えようとしていた。ただ、グループにより差があった。
- ・夏休みをはさんだ実践になってしまったので、虫の飼育が大変だった。
- ・かたつむりは、夏休み明けどこを探しても見つからず、季節によって生き物のすみかが違うことが、子どもたち共々勉強になった。

(2) 討議より

- ・夏休み開けてすぐとは思えないほど、子どもたちが集中して取り組んでいた。
- ・子どもたちの言葉で一生懸命1年生に分かったことを伝えようとしていた。

- ・「ざりがににつり」などいろいろな紹介方法があつてよかった。
- ・死んでしまった虫も標本にしてクイズにするなど工夫があつた。
- ・1年生も楽しんで参加していた。

(3) 指導・助言

- ・60分授業だったので、8つのグループをすべて回ることができた。子どもたちも満足できたと思う。
- ・よく観察し、しっかり説明しようとしていた。育てるという経験からでた気付きや言葉がたくさんあつた。
- ・1年生も2年生も笑顔で参加し、生き物ランドを楽しんでいたのが良かった。

8 資料

(1) 生き物グループ（1年生の活動内容）

ありじごく



- ・ありじごくが巣を作る様子をパソコンで見る。
- ・ありじごくを実際に手のひらにのせてみる。

カミキリ



- ・図鑑からカミキリの名前を探す。(何種類かカミキリがいたが、死んでしまったので簡単な標本にした。)

かたつむり



アメリカザリガニ



- ・手にのせてみる。触ってみる。
- ・動く様子を観察する。

- ・後ろから背中を持つてみる。
- ・イカをつけて釣ってみる。

ナナフシ



- ・手にのせてみる。
- ・動き方を観察する。

ショウリョウバッタ



- ・どこにいるか探してみる。(衣装ケースの中にバッタが40匹ほどいる。)
- ・自分で捕まえてみる。

だんごおし



- ・どこにいるか探してみる
- ・手にのせて観察する。

カニ



- ・捕まえてみる
- ・動きを観察する。

(2) 生き物マップ





- ・生き物を見つけた場所や、その時の生き物の様子などをカードに書いて紹介し合った。廊下に掲示してあり、どこに行けばどんな生き物が見つけられるか分かるようにした。

(3) 振り返りカード

- ・1年生が喜んでくれて良かった。
- ・1年生から質問されて分からないところもあったけど、一生懸命思い出して答えた。1年生と一緒に笑って面白かった。
- ・1年生が生き物に触ってくれて良かった。
- ・自分も最初は虫に触れなかったけど、触れるようになって良かった。
- ・1年生が怖がらなくて良かった。
- ・1年生が楽しそうで良かった。
- ・わくわく生き物ランドが成功して良かった。
- ・また、わくわく生き物ランドをやりたい。

生きものニュース

名前

わくわく生きものランドで 1年生に生きもののお話を しようかいてき
ましたか、どれかひとつに ○をしましょう。

() わかりやすく しようずにしようかいてきた。
() まあまあ しようかいてきた。
() うまくしようかいてきなかった。

かんそう

はでちかか いはまで かかあてて
こを一年生にしようかいてきよかった。
一年生にしようかいてきよかった。
いはいちかかいてきよかった。

わくわく生きものランドをつくるために がんばったことに ○をしま
しょう。(ほんこ ○をしてもよいです。)

() 生きものを さがした。
() えさや すみかを しらべた。
() ともだちと きょうりょくして すみかをつくった。
() かんさつして いろいろなことがわかった。
() かんさつして 分かったことを ふせんに書くことが
できた。

(4) 1年生の感想

- ・ザリガニつりがたのしかかった。
- ・ザリガニをつかんだとき、はさまれていたかった。
- ・カニを触るのが楽しかった。
- ・えびがはさんできた。
- ・ザリガニがとれなかったけど、楽しかった。
- ・ななふしに初めて触った。
- ・かたつむりがかわいかった。
- ・こわかったけど楽しかった。
- ・カニにいかをあげたけど、食べなかった。
- ・虫がおもしろいってよくわかった。

わくわく いきものランド かんそう

名前

1 いきものランドは たのしかかったですか。

たのしかかった たのしくなかった

2 いきものことが わかりましたか。

わかった よくわからなかった

3 いきものに さわれましたか。

さわられた さわれなかった

4 いきものランドへ また 行ってみたいですか。

いきたくい いきたくない

5 かんそうが かわるひとは かいてください。

さいしょはなとさわられる
かこわかったけどかわ
いかったです。

(5) 休み時間に「生き物ランド」



- ・他のクラスの1年生・2年生にも生き物を紹介しようということで、休み時間に2回廊下で「生き物ランド」を開いた。

(6) その後

「生き物ランド」が終了した後、生き物たちをどうするか子どもたちに聞いた。「もといた場所に返す。」「飼いたい人が飼う。」という意見が多かった。飼いたい人は家の人の許可を得て最後まで大切に飼うことを約束し、希望者が持ち帰った。バッタなどは校庭の草むらに返し、みんなで見送った。

8 成果と課題

- ・「生き物を飼育する」という活動を通し、子どもたちは、生き物を大切にすることや生き物を育てることの難しさを実感することができた。約1ヶ月飼育することで、生き物に対する気付きが増えた。
- ・自分のまわりには多様な生き物が存在することに気付き、自然に目を向ける子が増えた。
- ・「1年生に紹介する」という活動を通し、伝えることの楽しさ難しさを学ぶことができた。年下の子どもたちへの接し方なども上手になった。
- ・子どもたちの周りから虫のいる環境が減っている。虫探しも難しくなってきた。
- ・子どもたちの気付きを促すような声かけがたりなかった。学習に深まりがでる声かけや働きかけを工夫する必要があった。